

仕入ご担当者様(ジャンル:農業・食エッセイ)

FAX03-3518-4944

配本申込み〆切 11月7日



晶文社 11月の新刊

できれば、古来種野菜を 食べてください。

高橋一也 四六判 256頁+ カラー16頁 予価:本体 1600円+税 ISBN978-4-7949-6944-6 C0095

野菜って、楽しくって、 美味しくって、 でも、ちょっと切ない。

古来より、一度も絶やされることなく
連綿と受け継がれてきた「命」があります。
それが古来種野菜(在来種・固定種などのすべての伝統野菜)たち。
農家さんが、種を撒き、育て、収穫し、そこからまた
種を採集して来年まで寝かせる。そしてまた種を撒く。
そのサイクルが800年近く続いてきました。

——しかし、その種がいま、途絶えようとしている。

僕たちには何ができるだろう。 それは「食べること」!

世間の風を冷たく感じた路上販売に始まり、
古来種フェス「種市」の熱狂、
伊勢丹での驚きの展開にいたるまで、
「あたためる八百屋」の騒がしい毎日をめぐる奮闘記。



■様々な古来種きゅうりたち。
800年続く平家きゅうりを中心に。

【目次】

- 第1章 種が大事だと言いつける!
 - 第2章 最初に伝えておきたいことが、
いくつかあって
 - 第3章 僕の仕事は野菜の流通、
そのすべてだ——その1
 - 第4章 種について僕たちが
知らなかったこと
 - 第5章 種まく農家と美味しい関係
 - 第6章 僕の仕事は野菜の流通、
そのすべてだ——その2
 - 第7章 未来への種をまく
- エピローグ 八百屋の日々

著者：高橋一也 (たかはし・かずや)

1970年生まれ。高等学校卒業後、中国に留学。その後、(株)キハチアンドエスに調理師として勤務する中で、有機野菜と出逢う。1998年に(株)ナチュラルハウス入社。後に取締役へ就任し、売上高50億円の会社経営に携わる。東日本大震災をきっかけに、warmerwarmerとして独立。古来種野菜の販売や、有機生産者を守るための活動に熱く取り組む。

テレ東「ガイアの夜明け」、
TBS「EARTH Lab」ほか、
TV出演多数!



新刊委託注文書	取次・貴店印	<h2>できれば、古来種野菜を 食べてください。</h2> <p>【農業・食エッセイ】 高橋一也 著</p> <p>四六判・ページ 予価:本体1600円+税 ISBN978-4-7949-6944-6 C0095 11月24日配本予定</p> <p>POP希望()</p>	申込部数
	ご担当 様		冊

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11 TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

※常時入帖しますので、長期間の陳列をお願い致します。【晶文社営業部：川上・片桐・福士・佐々木・松崎・長田】